

(参考 1)

OTO対策本部決定の検証について

平成 15 年 6 月 25 日
市場開放問題苦情処理推進会議

1 OTO対策本部決定の検証

所期の成果が着実に上がり苦情そのものが解決に至ったか最終段階まで検証するため、「OTO案件の総点検」及び「平成 13 年度問題提起プロセス」におけるOTO対策本部決定の検証を行う。

(具体的対応)

OTO推進会議専門家会議において、OTO対策本部決定された事項に関してその実施時期が守られているか、所期の効果が着実に上げられているか等の観点から進捗状況の検討を行う。その際に、必要に応じて苦情申立者をOTO専門家会議に招致し、意見を聴取する。

(参考) OTO案件の総点検 (平成 15 年 3 月)

「結び 繰り返し検証を行うことの重要性 (抜粋)

重要なのは、所期の成果が着実に上がり、苦情そのものが解決に至ったかどうか、最終段階までフォローしていくことにある。このため、OTO推進会議としては、「行うべき対応が行われているか」「その対応が施策の実施段階まで至ったのか」「実施された施策は成果を挙げているのか」を繰り返し検証するとともに、対応があまりに遅いため、あるいは内容が不十分であるため、所期の成果が十分上がっていない場合には、その成果が一刻も早く実現できるよう、積極的に働きかけていくこととする。」

2 O T O対策本部決定の検証案件

外国で流通する食品添加物の開放

(厚生労働省)

食薬区分の見直し

(厚生労働省)

輸入建材等の検査での海外検査データの活用

(国土交通省)

J A S 制度の見直し

新たに導入された登録外国認定機関制度の活用(有機 JAS)

(農林水産省)

通関・検疫業務の 24 時間、365 日営業の実現

(財務省・農林水産省・厚生労働省)

港湾業務への市場原理の導入

(国土交通省)

輸入手続の簡素化・迅速化

・ 簡易申告制度の改善(財務省)

・ ワンストップサービス(シングルウィンドウ化)の推進(財務省等)

NACCS の利用料金の低廉化

Air-NACCS の料金体系の見直し

(財務省)

けん引自動車及び被けん引自動車に係る車検制度の改正等

(国土交通省)

植物検疫の透明化・合理化

(農林水産省)

食品検査機関の民間への開放

(厚生労働省)

家電リサイクル法に基づくリサイクル料金設定

(経済産業省)

毒物及び劇物のタンクコンテナによる国内輸送容量に関する基準の見直し

(厚生労働省)